

日本小児科学会小児医療委員会主催

小児在宅医療実技講習会報告

開催日時：2021年7月4日（日）9：00～16：10

開催場所：茨城県厚生連研修センター（茨城県土浦市真鍋新町2-17）

参加費：6,000円（テキスト，昼食代込み），WEB参加者：5,000円（テキスト込み）

参加者数：現地参加者22名，WEB参加者6名（申込29名，欠席1名）

主催：公益社団法人 日本小児科学会

後援：茨城県，土浦市，茨城小児科学会，茨城県医師会，茨城県小児科医会

概要：日本小児科学会が毎年実施している小児在宅医療の基礎知識と基本技術の習得を目的とした主に医師向けの講習会を今回は茨城県で開催した。講義に加え，人工呼吸器，酸素などの体験学習，実習人形を用いた気管切開カニューレ交換と胃ろうボタン交換の実技体験を行った。

プログラム内容：

1. プリーフィング：渡辺章充（総合病院土浦協同病院小児科）
2. 開会の挨拶：藤枝幹也（日本小児科学会小児医療委員会担当理事）
3. 講義1「小児の気管切開管理」：平井みさ子（東京都立小児総合医療センター消化器科）
4. 実習1「在宅人工呼吸器」，実習2「気管切開カニューレ交換」
5. 講義2 在宅医療の実際
 - (1)「小児の在宅医療の実際」：
石渡久子（医療法人財団はるたか会子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田/せたがや）
 - (2)「茨城の在宅医療の実際」：木村洋輔（社会医療法人恒貴会大和クリニック）
6. 講義3 ランチョン「バクロフェン持続髄注療法の適応と管理」：室井 愛（筑波大学医学医療系 脳神経外科）
7. 講義4「小児の胃ろう管理」：五藤 周（総合病院土浦協同病院小児外科）
8. 実習3「胃ろうボタン交換」，実習4「在宅酸素療法」
9. 講義5 在宅医療の実際
 - (3)「茨城県の小児在宅医療の現状と展望」：渡辺章充（総合病院土浦協同病院小児科）
10. 修了証授与：是松聖悟（日本小児科学会小児医療委員会委員長）
11. 閉会の挨拶：高田英俊（茨城小児科学会会長・筑波大学小児科教授）

参加者：会場：茨城県14名，東京都5名，神奈川県3名

Web：茨城県4名，神奈川県1名，東京都1名

内訳：日本小児科学会会員19名，非会員9名

医師（小児科）18名，医師（小児科以外）4名，看護師4名，学校看護師2名

スタッフ内訳（重複あり）：講師6名

土浦協同病院6名，筑波大学3名，茨城県立こども病院4名，茨城県立医療大学2名，JAとりで総合医療センター1名，柏市立柏病院1名，東京都立小児総合医療センター1名，あおぞら診療所せたがや1名，大和クリニック1名，福島県立医大1名，福島病院1名，福島県総合療育センター1名（次々期開催地），佐賀大学2名（次期開催地：Web参加）

日本小児科学会小児医療委員会8名（会場：担当理事1名，オブザーバー1名，委員3名，Web：委員3名）

アンケート結果：現地で受講した22名全員から回答があり，満足いただいたことが分かった。多職種連携を深めたいとの声もあった。今回の講習内容にはなかった診療報酬や物品請求の方法，呼吸器の実際の設定方法なども学びたいとの声もあがった。またWeb受講者2名からも回答があり好評であった。実技はWebでもわかるよう適宜画像をアップするなどの提案もあった。

まとめ：コロナ禍で，昨年度は中止となった茨城県土浦市での実技講習会。しかも初のハイブリッドの試みであった。従来は全国から受講者を募集していたが，今年度は関東在住もしくは勤務者限定とした。大半が茨城県の受講者で，本実技講習会がこの地域の小児在宅医療推進に一役買うことができたと考えた。